

売りのレンゲツツジはどうでしょうか？

湯ノ丸山・烏帽子岳

実施日 2012年6月30日(土)
 天候 晴れ
 CL 涌井 良明
 参加者 若村貴世子、齋恵美子、若村勝昭、
 佐藤金治、涌井良明、鈴木恵美子、
 石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、中
 村友子、伊藤久雄、石原勝正、古川
 美恵子、石附智子 計14名
 費用 3,000円(／人負担金)
 タイム 高坂SA・集合地発(7:20)地蔵峠(9:
 00~9:20)1960m付近(10:15~10:20)
 湯ノ丸山南峰(10:40)湯ノ丸山北
 峰(10:50~11:00)南峰(11:08~11:15)
 烏帽子岳分岐鞍部(11:43~12:10
 昼食)烏帽子岳(13:06~13:30)稜線
 分岐(13:50~14:10)烏帽子岳分岐
 鞍部(14:15~14:20)地蔵峠(15:05)

今年のレンゲツツジ見物の計画だった
 がラッキーな晴天に遭遇。花と山と人？
 を満喫できた山行となった。

14人の参加者は、クルマ提供の協力
 のおかげもあって3台の高級車(1台は
 並(-_-))は9時には湯ノ丸高原(地蔵峠)に
 着いた。あらまあ！峠の広い駐車場は
 ほぼ満車状態、今年のツツジ見頃ピンポ
 イントの貴重な週末、しかも晴天では観
 光客、ハイカー+山歩きと人があふれて
 いる。山に来てこれだけの人の数を見る
 のは実に久しぶり、人酔いしそうである。

山やはリフトには乗らず脇のスキーゲ
 レンデを登り、早
 くも一汗かく。リ
 フト終点付近のツ
 ツジ平は丁度満開、
 多くの散策の人並
 みが流れている。
 直行で向かう湯ノ

丸山の登山道も人の列が連なってい
 る、勿論我々も列の構成員となって、
 列の短めの踏み跡を拾って登るが何
 ともし落ちて着か
 ない歩きになっ
 てしまう。が、レ
 ンゲツツジをは
 じめとする花や
 山の緑、頭上に
 広がる青空が気
 分をほぐしてくれる。

湯ノ丸山への急登が終わると広い南峰

には多くの人が寛いでいる。我々は右へ
 やや空いていそうな北峰を往復する。

諦めていた北
 アの連なりも僅
 かだが顔を見せ
 てくれ満足し
 て、烏帽子岳へ
 向かう。急な下
 りを一気に降り、下山路の分岐となる鞍
 部で昼食にした。白い花を付けた大きな
 ズミの木の下、日影組、日向組とそれ
 ぞれに陣取ってパクついた。

食後、烏帽子岳の登りにかかるがそれ
 程の急登でもなく、花の種類も増えてき
 て、歩いていても楽しい登りだ。稜線に登
 り着き、右に見える小ピーク先の烏帽子
 岳に向かう、途中にはコマクサなども見
 られる。岩っぽい道を登りきると東側が
 切れた岩ゴロの烏帽子



北アもまだ見え
 ている、対面にま
 あるく大きく湯
 ノ丸山、その左奥
 には根子岳、四
 阿山など展望の
 頂の面目躍如で

ある。写真撮りなどでのんびり時間を
 過ごして、稜線分岐から、昼食の鞍部
 で下り、地蔵峠へのトラバース道へ。

標高差も少ないこ
 の下山路は美しい落
 葉松林やレンゲツツ
 ジをアクセントにし
 た何とも魅惑的な白
 樺林などのビューポ
 イントを楽しみなが
 ら緩く下る。キャン
 プ場を抜けると雑踏
 の世界に引き戻さ
 れるように地蔵峠に
 着いた。

クルマでは恒例の反省会も出来ない
 ので、ここで解散となり、各車でそれ
 ぞれに帰路についた。

参加された皆さん、快くクルマを提供
 をしてくれた渋谷、石原さん有難うござ
 いました。花と人？も愛でる山行はいか
 がでしたでしょうか？機会があれば、
 また計画してみますか(^o^)

(記&写真・涌井 良明)

